



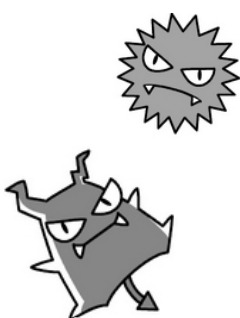
予防接種の基礎知識

子供が「おたふく風邪」にかかるとその子は生涯おたふく風邪にかからないといえます。これは「おたふく風邪の免疫」を持つていることを意味します。「免疫」とは「疫||やまい」から「免れる」ということです。

私たちの日常生活の中



には、さまざまな細菌やウイルスが存在し、それぞれに対する抵抗力（免疫）がないと病気（感染症）にかかってしまいます。これらの病気の中には気づかないうちに治ってしまうものもあれば大



よって、発病を予防したり、病状を軽くしたりする方法です。

抗体は、病原体を認識し無力化するように働きます。ワクチンに対する抗体が作られる過程において、体にとって好ましくない反応が起こることがあります。これを「副反応」と呼びます。副反応の多くは注射した箇所の腫れや痛み。発熱など数日で軽快します。副反応というところ「副反応がもの」とか「副反応が

○●○●○●○●○●○●

予防接種とは「免疫を作る種（ワクチン）を注射したり、皮膚につけ、免疫（病気に抵抗する力、抗体ともいいます。）を作ること



こわいから予防接種を受けたくない」と思っている人がいるようですが、必ずしもそうではありません。副反応のほとんどがいわば生体の反応である一時的な症状で、本当にかかったリスクに比べると軽く、重度の副反応はきわめてまれで、ワクチンとの因果関係が不明なものもあります。卵アレルギーの対応

卵アレルギーの対応

□○□○□○□○□○□○□○□○□○□○□○□○□○

現在世界（WHO）では麻しん（はしか）を排除する計画が立てられています。日本を含む西太平洋地域においては2012年を目標に麻しんのワクチン2回接種を進めています。アメリカでは19



については、受精卵の漿尿液からワクチンを精製して卵のたんぱく成分はほとんど含まれていないのでアレルギー反応が起きにくくなっています。

90年から2回接種を実施し、国内での麻しん感染はほぼ無くなっているようです。

またホットなニュースとしては、中高生から高齢者に多く発症する「帯状疱疹（ヘルペス）」が「水痘（水ぼう

そう）ワクチンの応用で予防できるといった研究もされていて、今後、実用化の可能性が高いそうです。

現在では乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の方々の健康と生活を守っていくために、インフルエンザを始めさまざまなワクチンが開発されています。

大切なお子さんを恐い感染症から守るのは親の務めです。そしてその方法は予防接種が何よりも有効です。国や自治体がすすめる予防接種は特に大切なもの。進んで受けるようにしましょう。（看護師 遠松美智子）

